

「栄養改善事業功労賞」受賞

10月15日(金)、グリーンヒルズ津山リージョンセンター ペンタホールにおいて、鏡野町愛育委員会と鏡野町栄養委員会がそれぞれ「母子愛育事業功労賞」「栄養改善事業功労賞」を受賞されました。

鏡野町の愛育委員会と栄養委員会は、市町村合併後の平成17年4月から新たに発足し、現在にいたるまで地域の健康づくりボランティアとして、自主的な活動や行政への協力活動を通じて、地区の健康づくりとともに、町全体の健康づくりを行ってきました。このたびの表彰は、長年にわたる活動の功績が高く評価されたことにより受賞となりました。

現在は愛育委員154名、栄養委員128名で活動を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区での活動が難しい状況にありますが、まずは委員自身が健康について学ぶ研修会等に参加し、自己学習に努めています。



「母子愛育事業功労賞」「栄養改善事業功労賞」

米価下落で町に支援策要望 (鏡野町議会)

11月5日(金)、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、米の価格が下落し、農業者への影響が深刻であるとして、原議長と産業常任委員会山本委員長、岡田副委員長から山崎町長に農業者支援を求める決議書が提出されました。

決議書は、11月議会において全会一致で可決されたもので、全国的に米の需要が減少する中、令和3年産の米概算金が大幅に下落していることから、農業者の経営危機を打開するために、独自の救援支援策を早急に実施するよう求めています。

決議書に法的拘束力はありませんが、町民の皆さんの声や思いが込められており、山崎町長は、「多様化した食生活の中で米価の下落は進んでおり、できる限りの支援をさせていただきます。」と答えていました。



スポーツ推進委員の活動

○スポーツ推進委員会とは？

スポーツ推進委員は、昭和30年代から「体育指導委員」という名で法的に位置づけられ、地域スポーツの拡大、発展に大きく貢献してきました。平成23年に「スポーツ振興法」が「スポーツ基本法」に50年ぶりに改正され、「体育指導委員」は「スポーツ推進委員」となり、地域スポーツ振興の推進役を担っています。鏡野町でもスポーツの推進のために事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対するスポーツ等の実技の指導、助言を行っています。

○活動

10月28日(木)に香々美小学校で「カロリング」指導を行いました。短い時間で子どもたちからは歓声があがるなど、みんな協力して楽しい指導ができました。



森林に親しむ期間の取組

11月6日(土)、高清水トレイル登山口で森林に親しむ期間の取組が行われました。

例年は4月～5月の間に行われていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言の発出に伴い延期をしていたところ、現在は緊急事態宣言も解除され、感染者数も減少していることから、鏡野町観光協会主催の高清水トレイルトレッキングツアーの開催に併せて実施されました。

当日は、鏡野町森林づくり協議会委員8名と事務局によりPRチラシや山火事防止を啓発したポケットティッシュ80セットが一般訪問者に配布されました。

